



伊那市議会9月定例会では23議案と請願・陳情5件、議員提出議案4件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(人事案件)

◆公平委員会委員の選任(廣瀬源司氏の公平委員会委員の選任について同意しました。)

(一般案件)

◆請負契約の締結(市営住宅若宮団地若者・子育て向け住宅建築工事の請負契約締結について可決しました。)

◆市道路線の変更 1案件

(条例案件)

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(職員の育児休業の取得回数制限の緩和などを定める改正について可決しました。)

(令和3年度決算認定案件)

◆一般会計、特別会計9会計、企業会計3会計

(令和4年度補正予算案件)

◆特別会計3会計、企業会計2会計

(請願・陳情)

◆「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める陳情書(採択)

◆高齢者肺炎球菌ワクチン個人負担減額を求める陳情(採択)

◆地方財政の充実・強化を求める国あて意見書の提出を求める請願(採択)

(議員提出議案)

◆不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出(不登校児童生徒の多様な学習機会の確保を求める内容の意見書の提出について、可決しました。)

◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

(地方財政全体の安定確保を求める内容の意見書の提出について、可決しました。)

◆国葬に関し明確な根拠となる法整備を求める意見書の提出

(国葬に関し明確な法的根拠の整備を求める内容の意見書の提出について、可決しました。)

賛否の分かれた議案など

■議案について 賛成…○ 反対…×
■請願・陳情について 採択…○ 不採択…× 趣旨採択…☆
(なお、原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	田畑正敏	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	白鳥敏明(議長)	本会議結果	
予算案件	◆令和4年度伊那市一般会計第2回補正予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願・陳情	◆食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情(陳情)	趣旨採択	☆	☆	☆	○	☆	×	☆	☆	☆	×	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○		趣旨採択	
	◆食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を配布させない措置を求める意見書の提出について(陳情)	趣旨採択	☆	☆	☆	○	☆	×	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○		趣旨採択	
議員提出議案	◆安倍元首相の国葬の中止を求める意見書の提出について	付託省略	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		否決	

9月伊那市議会定例会

一般質問から

令和4年9月伊那市議会定例会の一般質問は、9月6日、7日、8日の3日間にわたって行われ、18人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

高橋 姿



障害者の仕事づくりの可能性と魅力

問 高橋姿議員 移動支援事業見直しの進捗状況は。

答 市長 8月中旬に6事業所から現状を聞き取り、今後上伊那で調整を行う。

問 高橋姿議員 伊那市の平均工賃は月額1万8千円であり、まだ少ない。また、障害者優先調達推進法に基づいた物品や役務の発注が伊那市は少ない。今後改善の見込みはあるか。

答 市長 今後、農福連携などを推進したい。また、特に発注の少ない役務については、

他自治体の事例を参考に、発注に努めたい。

問 高橋姿議員 最低賃金で障害者が働ける就労継続支援A型が伊那市には少ない。市として開設支援はあるか。

答 市長 現在のところ、開設支援の予定はないが、希望する事業所があれば、個別に対応したい。

問 高橋姿議員 国内でも先進的な取組である、今年開始した伊那市の重層的支援体制整備事業の今後と課題は。

答 市長 複雑化、複合化した問題、ヤングケアラー、ひきこもりなどに対して庁内の全ての課と連携し、断らない相談支援を実現したい。地域や企業などと協力し、社会へつながる就労支援を行いたい。

問 高橋姿議員 赤字化する伊那市観光(株)関連施設で

あるみはらしの湯など、施設の魅力や集客力向上は障害者を雇用することで実現できないか。取壊し予定の羽広荘の活用は。

人件費の削減は必須だが、障害者の雇用は取り組んでいく必要がある。老朽化した施設は、安全性を考えると無償譲渡も困難。提案内容は、参考にしたい。

問 飯島光豊 ①物価高騰の食費を据え置いた学校給食食材費補助事業継続を。②来年度からの保育園・幼稚園の「給食副食費の無償化」に続き、小中学校給食費無償化も検討を。



学校給食費補助事業継続と無償化の検討について

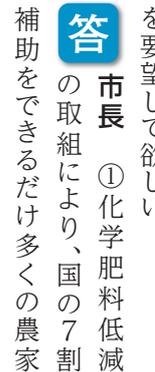
問 飯島光豊議員 ①物価高騰の食費を据え置いた学校給食食材費補助事業継続を。②来年度からの保育園・幼稚園の「給食副食費の無償化」に続き、小中学校給食費無償化も検討を。

答 市長 ①今後も物価高騰でオーバーしたところは行政で負担していく。②文科省も、学校設置者の判断で保護者負担の軽減を図ることは可能との見解もあり、無償化を移行した自治体もあることとは承知している。徐々に導入する。金額や率について検討課題とする。

肥料価格の高騰から伊那市農業を守る緊急対策について

問 飯島光豊議員 ①肥料や飼料など異常な価格高騰が続いている。国からは、肥料価格の7割補助が示されている。国の制度に市の補助金の上乗せを。②農協や肥料販売店などが申請事務経費が出ないと困っている。国に支援策を要望して欲しい。

答 市長 ①化学肥料低減の取組により、国の7割補助をできるだけ多くの農家が受けられるよう、JAなどと連携して取り組む。②農協や肥料販売店などは、申請事務費補助を国に要望している。県の協議会へも負担軽減を要望していく。



「市内保育施設における使用済み紙おむつの回収」について

問 高橋明星議員 今年11月から始まるこの事業は、毎年1千万円もの費用がか

かる。必要性、緊急性、公平性に疑問がある。慎重に検討すべきであると考ええる。

答 市長 保護者の負担軽減や感染対策のため公立園から取り組み、私立園については考え方などお聞きし検討する。

「紙おむつのリサイクル」についての提案

問 高橋明星議員 紙おむつはペレット燃料など再資源化の研究が進んでいる。伊那市全体として乳幼児から高齢者まで全ての紙おむつを回収し、資源化してはどうか。

答 市長 極めて進歩的な提案。紙おむつの資源利用について研究していきたい。

「回収されずに残されているごみの問題」について

問 高橋明星議員 分別不十分などで残されたごみを地区の衛生役員が処分している。一般市民が他人のごみを処理しなければならないというのは好ましい状況ではない。

答 市長 衛生自治会の役員の皆様には、可能な範囲で再分別をお願いし、酷いものにつ

いは市役所に連絡をいただきたい。この旨改めて周知をしていく。



物価高騰に伴う更なる追加支援について

問 篠塚みどり議員 市民の皆様は、食料品、燃油などの物価高騰で生活が益々困窮している。全市民への追加支援策を希望する。

答 市長 これまで生活支援・物価高騰対策として、プレミアム商品券の発行、商品券の非課税世帯への配布、子育て世帯への現金支給、農業、福祉施設への支援を実施してきた。今後、国県の動向などを注視し、冬季の暖房費支援も考えたい。上下水道料金の値上げはせず、保育園副食費無償化などできることはしていく。

医療用補助具ウィッグ、人工乳房などの購入費補助について

問 篠塚みどり議員 がん患者の経済的、精神的負担は

とても大きい。療養生活、社会参加を応援するためにも負担軽減へ、医療用補助具アピアランスケア用品、ウィッグ、人工乳房などの購入費補助を希望する。

男性トイレへのサニタリーボックス設置について

問 篠塚みどり議員 前立腺がん、膀胱炎、頻尿など誰もが起こりうる尿漏れに対して、社会活動を行っていくためにも、男性トイレにサニタリーボックス設置を希望する。

唐澤千明



夏休みでの子どもへの食事提供について

問 唐澤千明議員 厚生労働省が発表した子どもの貧困率は、平成27年度の数値で7人に1人の子どもが平均的所得の半分未満に満たない世帯で暮らしている。昨年、子どもの食事支援をする「伊那市子どもの未来応援隊」を始動した。申込みや活動状況は。

男性トイレへのサニタリーボックス設置について

問 篠塚みどり議員 前立腺がん、膀胱炎、頻尿など誰もが起こりうる尿漏れに対して、社会活動を行っていくためにも、男性トイレにサニタリーボックス設置を希望する。

唐澤千明



夏休みでの子どもへの食事提供について

しを完了したが、主な点は。
答 市長 市が事業主体となつて行う地域振興上必要性が高い施設は、農用地区域内でも農地転用許可は不要となる。事業開始までの期間が短縮されるなどのメリットがある。



コロナ禍の経験を生かした小学校教員の時間的なゆとりを生むための教育改革の提案

問 野口輝雄議員 コロナ禍で学校日課が変わってしまった経験を生かして、日課表の中に教員が自由に使える物理的な時間を確保することが急務ではないか。また、リモート学習は通年利用すべきと考える。

答 教育長 翌日の授業の準備ができる時間の確保は大事で、これまでも日課表の工夫をして学級事務などできる時間の確保をしてきた。リモート学習は現在でも教科指導に使うことができるようになっており、先生方も使う方向で考えている。

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)は現在の教職員の勤務状況の実情に合わないので、改正または廃止して新しい法律の制定を

問 野口輝雄議員 50年前に制定された給特法は、すでに現在の勤務実態に合わないの、地方から給特法の改廃の声をあげるべきである。

答 教育長 給特法は50年余り経ち、状況が変わっている。新文部科学大臣も見直しの準備を加速するように指示を出した。議論を経て子どもたちにとってより良い学校が作られていくことを願っている。

二瓶裕史



伊那市陸上競技場について

問 二瓶裕史議員 ①令和3年度に約2億円をかけて改修した陸上競技場の助走路に複数箇所空洞化が見られるが、その対応は。②陸上競技場北側の近隣住宅用に目隠しフェンスを設置

してはどうか。

答 文化スポーツ部長 ①施工業者と原因追及のための調査を実施し、9月20日から修繕工事を予定している。②目隠しフェンスの設置は、ある程度の高さが必要であり、日照の問題や景観の阻害、冬場の路面凍結なども想定されるため、今のところ設置は考えていない。

問 二瓶裕史議員 養育費は、離れて暮らすこととなった子どもが困ることなく暮らしていくために支払われるものである。支払いの後押しとなるよう公正証書による離婚協議書作成のための費用を補助しては。

養育費確保支援について

問 二瓶裕史議員 養育費は、離れて暮らすこととなった子どもが困ることなく暮らしていくために支払われるものである。支払いの後押しとなるよう公正証書による離婚協議書作成のための費用を補助しては。

答 市長 国のモデル事業の結果や、公正証書等補助金制度を導入している自治体を参考にして研究していきたい。

小中学校に法律専門家の配置を

問 二瓶裕史議員 学校を守るためのスクールロイヤーではなく、子どもたちを対象とした法律相談制度の創設を。

答 教育長 まずは、子どもたちによる直接の法律相談の「前の段階」が児童生徒に開かれていなければならない。そのように努めている。

池上謙



分杭峠行きシャトルバスについて

問 池上謙議員 混雑を避けるために運行している分杭峠行きシャトルバス。新型コロナウイルスのまん延により、やむなく2年間運休していたが、今年4月から再開している。8月末までの利用状況はどうか。

答 長谷総合支所長 今年度のバス利用実績は、8月末時点で1万6530人。今年度末までの推定利用者数は、約3万人を見込んでいる。また、一日の最高利用者数は、5月の連休中、4日の822人であった。

問 池上謙議員 粟沢駐車場には、現在簡易トイレが2つ設置されているのみであ

る。5月の連休中には、連日800人を超える訪問客があったということだが、公衆トイレを新たに建設できないか。

答 市長 シャトルバスは過去年間最高10万人の利用者があったが、最近では3割くらいに落ちてきている。今後の来訪者数の動向を見ながら、仮設トイレの増設で対応したい。

伊那市主催の戦没者追悼式の開催について

問 池上謙議員 戦没者追悼式は、各地区の社会福祉協議会が実施しているが、伊那市主催で開催したらいかがか。

答 市長 宗教的儀式を伴わない実施は可能。今後は市の戦没者遺族会と社会福祉協議会の意見を聞いて検討したい。

柳川広美



新型コロナ対策について

問 柳川広美議員 ①保健所に電話してもつながらない。市役所に陽性者の相談窓口の設置

を。②伊那中央病院の病床確保は。③あじさい弁当は車を運転できる障害者も対象に。

答 市長 ①県の受診相談センターや健康観察センターなどを紹介している。②増床はしていないが、保健所と連携を取りながら対応している。③あじさい弁当は調理や買物ができないなど栄養面から自立を支える制度。栄養士などが訪問して個々に判断する。

伊那市太陽光発電設備の設置等に関する条例の運用について

問 柳川広美議員 メガソーラー予定地の隣接地権者の合意が取れない場所を分筆した業者がいる。このような分筆登記を許せば条例は有名無実になるのではないか。

答 市長 事業予定地周辺の土地を4m幅で分筆して譲渡し、その土地所有者から事業の同意を得る、という手法は、条例本来の趣旨が損なわれる。条例逃れとならないよう、顧問弁護士に相談し対応する。

小池隆



質の高い保育の提供と保育の質の向上について

問 小池隆議員 今後、質の高い保育を維持していくため、保育士が保育業務に専念できるよう、園内の清掃など保育以外についての業務を行う補助者を配置したらどうか。

答 市長 各園と相談しながら、より良い体制、効率的な体制を整えていきたい。

問 小池隆議員 会計年度任用職員である1種保育士の確保及び離職防止として、クラス担任手当など職の責務に見合った処遇改善を行う予定はあるか。

答 市長 処遇改善は必要。国の動向を見て対応する予定。働きやすい環境の醸成に努めていきたい。

小中学校及び幼保等における今後の給食の在り方について

問 小池隆議員 有機栽培などによる食材を使った給食（給食の有機化）を提供していく考えは。



答 市長 有機栽培の食材を全て使うことは流通量、価格の問題から難しいが、市内には有機・無農薬・低農薬に取り組み農家も多く、地産地消の面でも可能な範囲で活用する。安全安心な給食のため、少々価格が高くても安心な食材を使っていく。

問 小池隆議員 小中学校における給食費の無償化について、現段階での市長の考えは。

答 市長 まずは、安心な給食、今よりもさらに有機などをを使った地産地消のもので給食を賄っていくことが次の段階だと考えている。



伊藤のり子



「20代の女性に選ばれる伊那市」を目指して

問 伊藤のり子議員 20代前半、大学新卒女性の労働市場の改革を進めるにはどうしたらよいか。

答 市長 受け皿は十分にあり、人手不足の状態である。若者や保護者に対し、魅力的

な企業や活躍できる場があることを情報発信していく。

問 伊藤のり子議員 「キャリア形成・スキルアップ」を望むが、施策は。

答 市長 期待に応える企業はたくさんある。PRに努める。

問 伊藤のり子議員 20代女性の流出を抑えることに特化した施策は。

答 市長 特化した施策ではないが、若者の人材確保に努める。移住者も増えている。キャリアを活かせる職場を紹介したい。伊那市でのライフデザインを描ける機会を創出したい。

高遠第2・第3保育園の園舎建替えについて

問 伊藤のり子議員 安全で快適な施設を望む。市長の考えは。

答 市長 地域の意見を聞いて、建替えの方向を進めたい。

伊那市有害鳥獣被害防除対策事業補助金について

問 伊藤のり子議員 1戸でも補助対象にできないか。

答 市長 地域や共同で取り組むことが重要であり、原則2戸以上としている。

小林真由美



今後の教育環境・学校施設について

問 小林真由美議員 児童生徒が相談しやすい仕組みづくりを。

答 教育長 相談機能の充実に図るため、担任や養護教諭のほかに、子どもと親の相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが児童生徒及び保護者からの相談を受け付け、対応。また、配布済みのSOSカードは、学校外の相談場所を案内している。タブレット端末を活用しての相談も検討の余地がある。

問 小林真由美議員 起立性調節障害などにより登校できない児童生徒の対応は。

答 教育長 保護者・医師との情報共有と、症状のある児童生徒に合った学校生活を送ることができるよう、生徒に寄り添う適切な対応と安心できる安全な学校づくりに努めている。

問 小林真由美議員 教職員への負担軽減に、デジタル化

による職場業務改善例は。

答 教育長 令和2年度から統合型校務支援システム（C4th）の導入により、児童生徒の出欠席・通知表・日報などの作成のほか、多岐業務を短時間で入力、集計が可能になった。保護者との連絡網システム「オクレンジャー」、会議資料やアンケート調査でのペーパーレス化にGoogleドライブやフォームを使うなど業務の効率化、業務改善を図っている学校もある。

問 小林真由美議員 学校施設の整備計画について。

答 教育次長 トータルコストの縮減と平準化を考え、計画的に老朽化施設の改修、長寿命化を行っていく。



伊那市観光株の経営責任について

問 三石佳代議員 伊那市観光株の経営責任はどうなっているか。

答 市長 指定管理者制度による指定先である伊那市

観光株にある。建物所有は伊那市であり、適切な管理を行っている。毎月、伊那市、産業振興委員、伊那市観光株の3者で経営改善に向けて協議している。

問 三石佳代議員 赤字が出た場合は、会社が責任を負うのか。全て税金で補うのか。

答 市長 3セクの側面もある。福利厚生面から赤字が出ることもあるが、赤字を減らす努力をしていく。民業を圧迫させないことも考えていく。

民生児童委員の活動サポート体制について

問 三石佳代議員 6月議会ですでに伝えたとおり、民生児童委員のなり手不足が深刻な状況。現在の活動サポート体制はどうなっているか。

答 市長 行事参加、配布物、充て職の軽減のほか、市報などで民生児童委員の役割について市民の理解を求めていく。

議員報酬削減協議に対する確認事項について

問 三石佳代議員 旧美和村では、議員報酬は民生委員活動費の5倍程度であったが、現在は30倍になっている。この

格差は見過ぎして良いのか。

答 市長 それぞれについて適正な額を決めるべきものであり、比較するものではない。

湯澤武



肥料・飼料高騰に対する支援

問 湯澤武議員 農家の肥料代、飼料代高騰に対する支援は。

答 市長 国は、化学肥料を2割低減する取組を行う販売農家には肥料費増加分の7割を補てんする対策を講じている。できるだけ多くの農家が支援を受けられるように関係機関と連携して取り組む。地元産の堆肥や飼料にできるだけ転換していく機会と捉えている。

「伊那谷フィルムコミッション」の充実・発展を

問 湯澤武議員 これまでの役割、効果は。

答 市長 3か月のロケで経済効果は約7千万円。市の魅力を発信する良い方法。移

住定住や観光人口の増加にもつながる。後継人材の育成も後押しする。

田畑正敏



移住・定住施策と人口減少対策について

問 田畑正敏議員 移住者が伊那市を選ぶ番の決め手は。

答 市長 子育て・教育に関するもの、自然や景観、風土、生活環境、また各種補助制度が後押しとなっている。昨年度、伊那市に移住した人は163人である。

問 田畑正敏議員 移住・定住を更に推進するための「次の一手」となる施策は。

答 市長 移住・定住に向けた戦略的な住宅・立地誘導事業として「いな住まいる補助金」を新設する。これまでの移住支援に加え、ここに住み続けてもらうため、新たに住環境に関する総合的な支援を行い、移住・定住の促進や市外への人口流出抑制、人口減少抑制につなげていきたい。

トンボの楽園(新山)の整備事業について

問 田畑正敏議員 トイレの整備をお願いしたいが。

答 市長 トンボの楽園への来訪者数、トイレの利用状況の把握をしていただき、期間中のレンタル等も含め今後の中で検討していきたい。

問 田畑正敏議員 トンボの楽園のような希少価値のある場所を、将来に渡つてどのように維持管理するのか。

答 市長 伊那市の貴重な財産として適切な環境整備、維持管理に努め、伊那市の魅力として保存、活用していく。

吉田浩之



上下水道事業の運営について

問 吉田浩之議員 経営が改善した理由は何か。

答 市長 業務の民間委託組織体制の見直し、電力契約の見直しなどが要因である。

問 吉田浩之議員 水道施設の耐震化工事は一般会計か

らの繰入れで積極的に行うべきではないか。

答 市長 有利な財源を活用し水道料金で進めていく。

下水道事業の運営について

問 吉田浩之議員 使用料を改定せず一般会計繰入金で補つこととした理由は。

答 市長 物価高の中、更なる市民の負担増を避けるため。

問 吉田浩之議員 経営健全化のための処理場統合は、計画どおり進んでいるか。

答 市長 手続きに時間を要し、事業費の平準化を図ったことで、予定より遅れている。

子ども相談室のあり方について

問 吉田浩之議員 子ども相談室の充実を図り、課相当にすべきではないか。

答 市長 より良い対応ができる組織のあり方を検討していきたい。

伊那まつりの今後について

問 吉田浩之議員 来年度は従来どおりの伊那まつりの開催を望む声があるが、市長の考えは。

答 市長 市民おとりを中心に据え、市民が積極的に関わる

ことのできる祭りしていきたい。

唐木拓



市営住宅ほかの施策について

問 唐木拓議員 今年度、若宮団地に建設予定の1棟20戸で予算額8.1億円の市営住宅「若者・子育て向け住宅」について、他に多くの必要な公共事業がある中、また市場には民間の空いている賃貸物件が多くある中、公共で取り組まなくてはならない事業なのか。例えば、民間賃貸住宅への家賃補助で解決できないか。必要性から検討いただきたい。

答 市長 民間住宅の活用については、買取りや借上げの公営住宅の方式があり、制度の概要や今後の供給戸数を見極めて先進事例を参考にしながら研究していきたい。



就学児のマスク着用について

問 唐木拓議員 新型コロナウイルス対策で、就学児のマスク着用には脳への影響、体調への影響、表情認識の阻害など様々な弊害が心配されている。市内の小中学校へのマスク着脱の指示の現状は。

答 教育長 国や県からのガイドラインがあり、屋外など様々な状況に応じた対応を指導している。

問 唐木拓議員 マスク着用の必要がない場合で、子どもや職員が判断しやすいように教育委員会から改めて通達を出していただくことは可能か。

答 教育長 先日開催された校長会で、屋外におけるマスク着脱のあり方を含め、感染予防をお願いした。

宮原英幸



自然エネルギー施策について

問 宮原英幸議員 再エネ推進交付金事業で、当市のカーボンニュートラル計画目標の達成

はどの程度進んでいるのか。

答 市長 現在よりさらに加速化し、森林吸収量を加え、2050年を待たずに達成できるものと試算している。

問 宮原英幸議員 地産地消エネルギーとしての小水力発電や、その他の自然エネルギー発電推進についてはどうか。

答 市長 水力資源は多くある事業者を支援したい。その他の自然エネルギー発電は、課題はあるものの、今後普及の可能性はある。先進事例の情報などを研究し、計画する事業者があれば、できる限り協力をしていく。

農林業のコロナ対策について

問 宮原英幸議員 危険木もつと積極的な拡大適用をしてはどうか。

答 市長 県の森林税を財源とする事業を積極的に活用し、足りない部分は森林環境譲与税の活用も検討していきたい。

各地域に残るマレットゴルフ場管理について

問 宮原英幸議員 必要性や管理状況などを市も把握する必要があるのではないか。

答 文化スポーツ部長 各地域の実情に合わせてそれぞれの地域で管理や必要性を検討していただいている。相談などはスポーツ課が窓口で受ける。



お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回12月定例会審査の受理期限は、11月17日正午です。

(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

市議会は、どなたでもお気軽に傍聴にすることが出来ます。是非お越しく下さい。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていきますので是非ご覧ください。

チャンネルは次のとおり。デジタル 11チャンネル

QRコード

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご利用ください。

*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

次回12月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」12月号をご覧ください。



伊那谷三市議会 議員研修会

7月22日に、伊那市、駒ヶ根市、飯田市の伊那谷三市の議会からなる連絡協議会が、議員研修会を行いました。



伊那谷三市議会の研修会は、伊那市役所と美和ダムを会場に行われました。

伊那市役所では、有限会社スワニー代表取締役社長橋爪良博氏と、伊那中央病院呼吸器外科部長高砂敬一郎氏が共同で開発した臓器モデルについて、開発の苦労や使い方の話をお聞きしました。この開発により、莫大な費用がかかる外科医育成に画期的な進歩をもたらしているとのことでした。



議員研修会



臓器モデルを使った実演

講演の中では、肝臓の臓器モデルを使用した実演を見せていただきました。臓器モデルは、外科医の練習用に使われるもので、血管部分は3Dプリンターで制作し、その周囲に寒天を使用しており、弾力のあるものとなっています。肝臓モデルを電気メスで切り開く実演では、切ったときに煙が出るという本物さながらの仕掛けに驚きました。この煙を出すことについても工夫があ

り、試行錯誤して煙を出せるようにしたとのことでした。受講者も肝臓モデルに実際にメスを入れるという貴重な体験をし、伊那市内で開発された技術の素晴らしさに一同が感心しました。

美和ダムでは、上流部に設けた堆積土砂を流すためのストックヤードを見学しました。国土交通省三峰川総合開発工事事務所長岩田伸隆氏からは、昨年の試験運用で環境モニタリングを行い、生物環境などに影響がないことを確認したとの報告がありました。

今後の美和ダム下流域における洪水調節機能強化とダム機能保全のための施設を確認し、有意義な研修会となりました。



美和ダム視察

馬の背ヒュッテ
8月2日に、南アルプスの山小屋の視察を行いました。



晴天のもと、経済建設委員会、希望議員、関係職員の計14名で馬の背ヒュッテの日帰り視察を行いました。このヒュッテは、伊那市が令和4年度予算で購入を決めたもので、実情を確認することを目的として実施しました。

仙流荘から南アルプス林道バスに乗り、北沢峠で下車してから、登りが2時間半、下りが2時間の行程でした。仙丈ヶ岳の頂上までは、標高2630mのヒュッテから、さらに標高差400mを1時間半登ります。



藪沢の出会い付近



馬の背ヒュッテ前にて

ヒュッテの宿泊定員は80名、専任の管理人が常駐し、よく整備されていました。

一方で、昭和62年竣工の木造で半割丸太のログ壁構造の建物は、外壁の防腐処理や防風対策、トイレの改修が必要と感じました。今シーズンの登山者数は、4万7千人を越えるとのことですが、ヒュッテが登山者の安全確保の一端を担うことで、さらなる利用者増加につながることを期待します。



平成クラブ

地域課題解決にまっしぐらの6人の侍

- 唐木拓議員 白鳥敏明議員 原一馬議員
- 田畑正敏議員 宮原英幸議員 池上謙議員

伊那市議会にある7つの『会派』を紹介します!

Q. 会派とは?

A. 市政に対して同じような考え方を持った議員同士のグループのことです。



令和クラブ

市民の思いを令和のこころで

- 小林真由美議員 野口輝雄議員 三澤俊明議員



素心クラブ

“一点素心”新人発進、五人でGO!

- 小池隆議員 伊藤のり子議員 高橋姿議員
- 吉田浩之議員 高橋明星議員



公明党

みんなで開く伊那市の未来「小さな声を聴く力」

- 篠塚みどり議員 湯澤武議員



日本共産党

市民と力を合わせて住みよい伊那市へ

- 柳川広美議員 飯島光豊議員



日本維新の会

未来を想う力～やさしさを情熱でつなぐ

- 三石佳代議員



新政クラブ

伊那市全体を見渡す広い視野。全力で!

- 二瓶裕史議員 唐澤千明議員